

威勢のよい賑やかな曲と共に 北永井秋まつり

北永井稲荷神社から大きな山車が動き出し、威勢の良い賑やかな曲が流れだす……。11月3日(土・祝)、北永井秋祭りが行われ、子どもからお年寄りまで多くの人を楽しみました。北永井のお囃子は“北永井囃子保存会”により継承されていて、夏は三芳中学校の学習の時間で一年生にお囃子体験を指導し、冬は小学生を対象とした伝習を行っています。



↑大きな山車が北永井地区を曳き廻りました。

桜から子どもたちへプレゼント



↑プレゼントも発送されました。

「これはきっと、桜から子どもたちへのプレゼントだと思います。(保護者)」季節外れの桜が10月、第一保育所に咲きました。第一保育所は今年度で閉園予定。この桜は第一回卒園生が寄付したもので、40年もの間、子どもたちの成長を見守り続けました。別れを惜しむかのような季節外れの桜。それは素敵なプレゼントでした。

“いざ” といふときのために訓練を



↑避難機を操縦。無事に完了。

10月27日(土)、不測の事態が起こった場合に避難の動きを確かめるための訓練、「藤久保小学校エリア避難訓練」が行われました。昨年の東日本大震災を教訓に、住民の皆さんは今まで以上に真剣に訓練に臨んでいました。この訓練は、今回が初。地域で“いざ”といふための高い意識を持つことが大切です。

町で行われたイベントや活動をお届けします！広報に掲載された人で希望者には、写真を差し上げますので、政策秘書室にご連絡ください。
【問い合わせ】政策秘書室秘書広報係 ☎049-258-0019(内線314)



1年に一度の町の祭典 老若男女が集まった みよし町民文化祭

町のふれあい・文化・芸術などを楽しむことができる「みよし町民文化祭」が10月21日(日)から11月4日(日)、コピスみよしと藤久保公民館で行われ、多数の来場者が参加し、町の祭典を楽しんでいました。



↑広報の歌壇でおなじみの「みよし短歌会」の作品



(写真大) 飛び入り参加もあったフラダンス
(左下) 紙でできたシャドウボックス作品
(下中央) みらい広場には家族連れの様子が
(右下) 精巧に作られたお面の解剖中

被災地へ届け、みよしの思い



↑80キロのサツマイモを届ける。

東日本大震災支援として10月28日(日)、福島県いわき市で行われた「大熊町ふるさとまつり」に住民ボランティアと三芳町職員が参加し、町のサツマイモを現地の皆さんにふるまいました。昨年も大熊町を支援するため参加しており、大熊町との連携を進めています。今後も支援を継続し、より絆を深めていきます。

↓ロンドンパラリンピック女子ゴールボールの監督として金メダルに導いた三芳町出身の江黒直樹さんに表彰状が贈られました。



おいしいお茶は、みよしの誇り



↑若い力が町の発展に尽力。

茶業研究会会員、鈴木紀啓さんが第34回FGTCサヤマ2012で「農林水産大臣賞」を受賞し、今回で5回目の受賞となりました。また、三芳町茶業研究会の皆さんが「地域振興賞」を11年連続で受賞しました。

この功績をたたえ、11月3日(土・祝)に行われた町民の日表彰式で、特別功労賞が贈られました。

功 労をたたえて祝う 平成24年度 町民の日表彰式

11月3日(土・祝)、役場庁舎内で『平成24年度町民の日表彰式』が行われました。町行政に多大な貢献をされた功労者25人、特別功労として1団体と1人、永年にわたり同一の職業で産業の発展に寄与された技能功労者11人に表彰状が、三芳町非常勤特別職を退職された42人に感謝状が贈られました。これからも町の発展のためにご尽力をお願いします。

走る。跳ぶ。投げる。 三芳町小学校連合運動会

10月10日(水)、総合運動公園で三芳町小学校連合運動会が開催されました。この運動会は、町内5つの小学校の5・6年生が参加して、陸上競技を行うものです。多くの保護者が見守るなか、生徒たちは日ごろの練習の成果を出し切るべく、全力で競技を行いました。この連合運動会は、町内の小学校生徒たちの貴重な交流の場にもなっています。



↑障害物走の第一関門「跳び箱」。力強く越えていきます。

↓一面をピンクで染める「コスモス」。町内外から観賞に訪れる家族の姿が。



みよしの秋を彩るコスモス みよしの秋のおとずれコスモスの花

10月下旬から11月上旬にかけて町内各所で鮮やかなコスモスの花が咲き乱れました。写真は北永井「みよしそばの里」に隣接するコスモス畑で撮影。「毎年ここに来てコスモス観賞を楽しんでいるんです。」と川越から来た家族連れの人が話してくれました。北永井以外にも竹間沢の歴史民俗資料館近くの畑でも数多くのコスモスを見ることができました。